

## 令和元年地域情報化講演会開催



令和の時代になり初めての地域情報化講演会を、66名の参加を得て、10月16日松江エクセルホテル東急で開催しました。今回の講演会では、これからのICT技術と社会の関りを考えるため、総務省中国総合通信局情報通信部長福田克己氏に「Society 5.0時代の地方」と題した講演をして頂きました。福田部長は、これからの日

本社会が、サイバー空間と現実空間が高度に融合した社会を目指すとし、狩猟・農耕・工業・情報社会に続く新たな文明史的意義を持つと定義されていることを紹介、さらに、中核となる技術概念としてIoTと第5世代移動通信技術（5G）の存在を指摘されました。なかでも5G技術について、超高速・大容量・多数接続・超低遅延が特色であり、社会や産業の在り方に大きな影響があるとしたうえで、帯域のうち一部が、ローカル5Gとして割り当てられると指摘されました。ローカル5Gとは、地域や産業の個別ニーズに対応するため、地域自治体や企業が主体となって構築される地域ICTシステムです。島根県内では、すでに、益田市、邑南町、安来市で、地域ICT取り組みが始まっています。これら地域ICTの取り組みがローカル5Gの取り組みにどう展開されていくのか注目されます。



講演会に続いて開催した交流会には43名が参加しました。太田史朗島根県商工労働部次長の挨拶の後、田中輝昭松江市産業経済部次長から挨拶と乾杯の発声をして頂き、交流会が始まりました。交流会には、出雲・松江市の社会人で構成するバードジャズオーケストラに二回目となる出演を頂きました。スウィングスタンダードナンバーを楽しみました。

